〔大正十年四月二十二日第三種郵便物認可〕　〔昭和五年五月十六日〕　警察新聞　〔金曜日〕　〔第二千八百二十八號〕　〔一〕

敬神崇祖に就て

門井喜久治

建國の精神國家觀念の涵養の爲め小學校生徒をして敬神崇祖の善風美俗を體得せしめんとして、文部省内務省等より訓令し之を行はしむるの一手段として村社鄉社縣社等を禮拜せしむるの方式が行はれてゐる

神社は宗教に非ずとして故に宗教的國民教育に非ずとなしてゐる事もよく解つてゐるが、然し之は全く糊塗である、眞に宗教に非ずとせば、神社が宗教でないと謂ふ原理を擴大して、教會も寺院も觀音堂も不動堂も宗教ではない、その境内にかその就殿伽藍の宗教的なるも尤も我が神道はこれを宗教としては確に甚だ原始的である、否哲學的である、故に宗教に非ずとして信教の自由も拘ぐるものでないと謂ふ辨解に資する事が出來る、神社が宗教でないと謂ふ原理を擴大して行く時、教會も寺院も觀音堂も不動堂も宗教ではない、その境内にかその就殿伽藍の宗教的なるも尤も我が神道はこれを宗教としては確に甚だ原始

大平勿來町長が 羊頭狗肉の策

家調選擧問題で 町民極度に批難

勿來町では這般の家屋税調査委員選擧に際し政黨政派に對峙し醜い爭ひをつゞけることは町の平和を破壞するのみであるから超黨派的に

無事に選擧を行ひたいと町長大平睦四郎(民)赤津庄兵衛(政)兩氏初め政民兩派の妥協が成立したこれより先き大平睦四郎氏は豫選會に於て民政黨系の候補者に撰ばれたが辭退し中野新造氏(民)を候補者に推し以て定員九名に對し九名の候補者で選擧を執行したところ開票の結果は意外にも大平睦四郎氏が當選し横山太一氏(政)が落選して了つた、當初から町の平和を

理想に立候補を辭退した町長大平氏のことであるから勿論退讓し次點横山氏を當選せしむるであろうと町民一般は豫想してゐたところ大平氏は頑として退讓する模樣もないが羊頭狗肉も甚だしい大平町長今回の態度に對しては猛然と批難の聲を放たれてゐる

四倉繭市場

六月十日に開市

石城郡販賣利用組合四倉繭市場では一日二千五百貫を乾燥し得る繭乾燥機を据付二十五日完成する見込で來月十日から開市する

平稅務署管内の 後半期交附金 各町村の別額

平稅務署管內平町外三十九ヶ町村の四年度後半期町村交附金總額は六千五百四十五圓四十八錢でこれを各町村別にすれば左の如、

△平町一一七〇圓〇九、飯野村二〇〇圓二五、鹿島村一二六圓五三、高久村一二七圓九八、夏井村一五二圓同二、神谷村一四九圓四五、草野村二四六圓九三、大野村一八六圓二八、平窪村一七一圓三八、赤井村一五四圓六四、好間村一九四圓四七內郷村二八一圓八〇、江名町一二九圓五八、豊間村一〇三圓六六、大浦村一六六圓六七、四倉町一〇九圓二、下小川村九二圓五六、上小川村六五圓川前村五〇圓七五、三坂村七五圓、深澄村四四圓八四、永戸村七〇圓九〇箕輪村四四圓三二、湯本町一五二圓四八、磐崎村二四六圓四〇、上遠野村一四六圓一九、入遠野村一〇〇圓、田人村七一圓二三、荷路夫村一一圓六五、石住村三圓九六、貝泊村六圓七五、川部村一三一圓〇三、勿來町二六一圓四四、錦村二一四圓五一、山田村一八一圓五二、植田町二三六圓二四渡邊村一一二圓一三、泉村二二六圓〇六、玉川村一八八圓六九、小名濱一四〇圓六九

大工町の 踏切改修

實現に邁進

平町の大工町鐵道踏切の改修問題は漸く一縷の光明を得るに至つたので多年同問題について東奔西走して平町發展會並びに町當局では實現について一層の運動をなす筈であるが臨時議會は十三日を以て終了し、先に同問題について少からず盡力した木村、比佐兩郡出身の代議士も十五、六日頃には歸郡するので兩代議士の歸郡をまつて關係者は今後の實現運動方法を協議萬端の準備を整へた上二十日ごろ關係者一同上京して實現に一路邁進することゝなつた

出獄して直ぐ 荒し廻る

四倉署に捕る

相馬郡中村町字向町七六竊盜前科五犯鎌田金重(二九)は去る十一日石城郡神谷村の呉服店からネル反物一反翌々十三日午後五時頃田村郡夏井村永山幸次方から金時計一個を竊取したこと發覺十四日四倉署員に逮捕されたが金重は昨年十一月二十四日浦和刑務所を出獄したばかりの者で餘罪あるらしく引續き取調中である

四倉港修築費 縣支辨

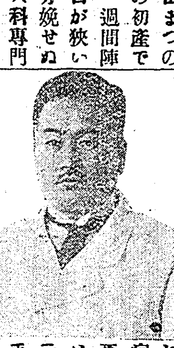
正式に通牒

縣では四倉港は先年地元町村で船溜を修築したが近頃遠洋漁業の隆盛に伴ない船腹の增大を來し狹あいになつたから更に修築すべく本港を縣費支辨港に編入することの認可申請中であつたが內務省では四倉港に對しては本年一月指定港に告示したから別に認可を要しないと思ふ故に縣費支辨差し支へなしと十四日通牒を發した

腹を割いて子が出た話

實川醫院で珍らしい大手術

難産の産婦が腹部を切開して子供を引き出し母子共にピン〳〵してゐると云ふ珍らしい實話――双葉郡廣野驛前會田まつの(假名)は四十一歲の初産で去月十五日から約一週間陣痛を催したが子宮口が狹いため如何にしても分娩せぬ爲め平町驛前産婦人科專門實川醫院に入院し院長實川醫學士の手で帝王切開手術(腹を切り開いて中から子供を取る)を試みたところ經過まことに良好で二十日目の昨十四日母と男の子がピン〳〵して退院した、去年の暮も好間村の吉川梅代(假名三)も同醫院で同樣帝王切開を試み之れまた大成功で僅か九日間の入院で男兒を抱いた母が目出度く退院したが



此の帝王切開手術は産科手術中第一の難手術で之れ以上の手術はなく大學病院等には稀れにあるが平地方は勿論普通開業醫としては殆んと絶無とも云つて差支ひない稀有の手術である

殊に母子共に健全に始終した等は特筆大書に價する一大成功で之を傳へ聞いた人々は實川院長の優秀なメスの冴えに驚嘆賞揚の聲を放つてゐる同醫院は斯くの如く産婦人科專門として地方拔群の好評を博し益々院務擴張の事實に鑑み大改築工事中のところ此の程全く竣工したが

手術室、分娩室、入院室その他近代最新の理想を取り入れた完全無缺の設備にして殊に分娩室の設備等は從來容易に見る事の出來ぬもので

實川院長の人格、手腕と相俟ち此の理想的實川醫院の完成は地方の爲め喜ぶべき事であろう(寫眞は實川院長)

斬り捨て御免

盜犯防止法案に就て

城山 加藤健一

ある一つのことを條件として私達はいま、人を殺しても良いといふ權利(?)を國家の名に於て附與さるゝことになりました。一定の條件といふのは「生命身體又は貞操に對する現在の危險を排除せんとする」場合また「現在の危險なきに非ずといへども行爲者恐怖、驚愕、興奮又は狼狽に因り現場でその犯人を殺傷」しても何等法律上の罪を受けずに濟むといふことになつたのです。世に之を盜犯防止處分法案と呼んで居ります

×　×

――戴くものは夏も御小袖と申しますが、戴いて却て閉口するものがあります私達は盜犯防止處分法案に依つて殺人の權利を戴くことになりますが、こゝには一寸變挺な氣が働きます。何んだか空恐ろしい氣持でもあり、喜んで良いのか惡いのか、判斷に迷ふ次第です。

それは丁度、惡女の深情といつたものでせうか――別に憎い譯でもないが、それで居て何だか空恐ろしい

×　×

しかし實際にこんなユーモア氣分で見れるほど、呑氣な問題ではありません。

一々文句を付け始めたら限りはありませんが、とても物騷な世の中になるだけでも、私のやうな弱蟲は先づ鐵條網でも張つて寢ることにせねばなりません。

單純な盜みでも、こんな法案が出來て、自分の生命が常に危險にあるといふことになれば、彼等は常に人を殺し得るだけの覺悟と用意とをして盜みに這入りませう。そこで先づ思出されるのは西洋物の活劇と、日本物の劍劇です。

今まで空彈ばかりであつたピストルにも實彈が用意されて來ませう、時代色の趣味として僅な人を除いて從來は侮蔑の眼を以て見られて居た刀もいよ〳〵その黃色な袋から拔け出して物言ふことになりませう。

――時代は巡るまた俺達の世の中になつたと、刀はほくそ笑んでゐることでせう。

×　×

一體、私達の生命、財産、貞操といふものは國家が保障して與れなければならない筈です。それ故に私達は國家の有難味を感じてゐたのです。生命、財産、貞操の保障も出來ないやうな國家なら――

兎も角、そうした保障は從來國家の仕事であつた、それがどうも國家だけでは不安全だ、そこで各人に殺人の權利を與へてそれの安全なる保障をなさうといふのが、この法案の出來上がつた所以でせう。

これを客觀的に見れば國家權力の失墜、――まり、これを主觀的に見れば國家權力の放棄であります。

×　×

何れ、今日はあまりむづかしいことを言はないことにしますが、私有財産制度を擁護するために、これから支配階級はどんなことをするか、どんなことでもしますそれを考へると末恐ろしくなります。――こん度の法案も所詮は私有財産制度擁護以外に何物でもないことを私達は知らなければなりません。

春繭の相場は 五圓五六十錢

生産費から觀測した 石城郡下の蠶兒

石城地方に於ける今年の春繭相場は一體どの位であらう?とは一般養蠶家の等しく心配する處で專門家の觀測を綜合すれば先づ以て五十掛の五圓五六十錢內外といふに一致する樣であるが從來繭一貫目の生産費は全國平均六圓九十九錢前後を唱へられて居り如何に本年は勞銀、物價等が下落したとは云へ六圓以下に賣つたでは養蠶家はそろばんがとれたものでなく何れも前途を悲觀してゐるが繭價を生み出す根本基礎となる生絲の生産費につき見る時この悲觀すべき安値の觀測はいやでも肯定せざるを得ない狀態に置かれてる樣だ即ち昨年の總生産費は三百七十圓一錢二厘に上つてゐる內譯の主なるもの左の通りで本年はごく內輪に見ても三百五六十圓を下るまい

△工賃一一〇、四一七△給料三六、〇六〇△燃料三三、五七八△利子四八九六九△賄費三〇、四五八△諸稅諸掛五、三〇〇△工女募集費二、九一六△購繭費一四、〇〇八△乾繭保管費一七、七七六△雜費一三、一三三△其の他

尙大正十一年は三百九十七圓八十四錢同二年は四百四十一圓七十九錢同三年四百六十六圓六十二錢、同四年四百四十二圓七十九錢昭和元年四百廿六圓四十九錢二厘同二年四百三圓三十八錢九厘、同三年は三百七十圓であつた

學生列車が 立往生

泉驛の混雜

常磐線高萩驛發午前五時二十分下り平行學生列車が十四日午前七時ころ泉驛構內にいて機關車に故障を生じ約一時間立往生したので乘車した多數學生は同驛午前八時十五分仙臺行列車に乘替へたが一時は非常な混雜を呈した

鑛區の競賣などは 全然の誤傳

そんなことあり樣がない 平稅務當局の談

磐城、入山、三井、古河、福島の五大炭礦が礦山稅を滯納してゐる爲め平稅務署から差押ひ處分を受けたが未だに納附しない爲め平稅務署では來る二十日ごろ礦區競賣の公告をなし公告後十日以內に納めなければ採掘權を失ふので五大炭礦は狼狽してゐる旨の新聞記事が一部に報導されたので各炭礦會社では寧ろ此の誤報に驚ろいてゐるが右に關し平稅務署では

鑛區稅の未納は刻下の炭況から見て寧ろ氣の毒に耐ねぬ爲め當局も此の意を了し分割納付の便宜を計ひ之れに對して整理してゐるので決して礦區の競賣公告なぞ全くあり得ない事ですから誤解ない樣に」云々との事である

記者募集

中學三年修業程度以上の學力ある男子、身體強健にして新聞記者生活に趣味を有する者二名(平町居住者に限る)を至急募集す希望者は履歴書持參本人午前中來社あれ委細面談

磐城新聞社

四倉管内の 家調當選者

四倉、久の濱 大久村

四倉署管內四倉、久の濱、大久村の家調選擧當選者左の如し

(四倉町)大和田安太郎、小港平次郎、小港宗吉、長谷川酉次郎、植田萬次郎、長谷川寅次郎、金成岩吉、遠藤安次郎、豊田盛治

(大久村)柳內義一、水野谷幸一、根本久米吉、飯島勝藏、大須賀酉太郎

(久の濱)村岡啓次郎、木村倉次、鈴木九十郎、鈴木勝藏、千葉才次郎、遠藤與平

遠藤助役上京して 認可の居催促

廿日頃には確實に 平上水道の起債

平町水道擴張工事費起債案は六町議の反對陳情書連發によつて內務省の沓閲を遲らせてゐたが、いよ〳〵土木衛生兩局を通過地方局へ廻送されたので居催促をなすべく十四日遠藤助役上京した、地方局は局長を初め平町の窮狀を諒解してゐるので今度こそは遲くも廿日までに內務省の認可ある見込である

四倉座の榮樂

四倉座は十五日から浪界隨一の巨星松鳳軒榮樂一行開演の

平商校生旅行

平町平商業學校第三學年生六十八名は來る十七日平驛發約一週間の豫定で東京、名古屋伊勢京都大阪方面に修學旅行をなすと

時言

出ません」と斷つてたいて影でこそ〳〵家調委員の選擧運動

□

大平勿來町長の出所進退常に如斯、此の一事既に町長の資格なし

□

口に平和を唱へ肚に野望を遂げんとする陰險卑怯實にたぐい稀れ也

□

掛け聲だけの平上水道起債認可、居催促の肚で遠藤助役上京

□

若し能はすんば生きて平に歸りません」とは言つて行かなかつた相だ

早慶野球戰の 勝敗豫想投票募集

全國野球ファンの待ちに待ちたる早慶戰は愈々來る十七日、十八日に神宮球場で行はることになりました弊店は親愛なる我が野球ファン諸君の興味をヨリ唆るべく左の規定に依り勝敗の豫想投票を募集致します

一、用紙　官製はがき(住所姓名御明記の事)
　書式
　第一回戰　何點の差にて何校の勝
　第二回戰　何點の差にて何校の勝
　第三回戰　(になりたる場合)優勝校名
一、宛名　平町田町　磐城新聞社
一、〆切　五月十七日正午
一、當選發表　決勝戰終了翌々日　磐城新聞紙上
一、賞品贈呈　置時計(一名)

正解者多數の場合は抽籤を以て定め正解者無き場合は最も接近せるを當選者と定む

大谷時計病院
平町三丁目(電一九番)

後援　磐城新聞社

當選御禮

今般家屋稅調查委員選擧に際し幸ひ當選の榮譽を擔ひ候は全く各位の篤き御同情御援助の賜ご感謝に耐ず玆に略儀乍ら紙上を以て御禮申上候 早々敬具

四倉町新町 大和田安太郎

當選御禮

今般家屋稅調查委員選擧に際し幸ひ當選の榮譽を擔ひ候は全く各位の篤き御同情御援助の賜ご感謝に耐ず玆に略儀乍ら紙上を以て御禮申上候 早々敬具

四倉町字仲町 小港平次郎

內科、小兒科　市原卯太郎
外科一般、婦人科　市原陸郎
外科、梅毒、淋疾、皮膚　市原三三男

平町田町本通
市原醫院 (入院隨時) 電話一一四番

時計 貴金屬商 眼鏡類 蓄音器

平町五丁目
金光堂時計店 電話七三六

修理ハ早ク良ク仕リマス